

1 iFデザインアワードを受賞したソファ「LIGHT FIELD」を中心に据えた、ラグジュアリーなリビングのスタイリング例。オイルフィニッシュを施したウォールナット材の質感で、落ち着いた雰囲気空間に。(写真左から) イージーチェア「BLAVA」各¥181,000〜 両肘ソファ3人掛け「LIGHT FIELD」¥955,000〜 リビングテーブル「IBIZA FORTE」(左) ¥287,000 (右) ¥416,000 シェーズロングソファ「LIGHT FIELD」¥547,000〜 サイドテーブル「MO TABLE」各¥125,000 2 無垢材から削り出されたフレームラインが美しいアームチェア。背の部分の素材には、厚革を使用している。アームチェア「IBIZA FORTE」各¥107,000〜 (すべてリッツウェル東京)



2



1

**快適性と美が両立した暮らしに寄り添う逸品**

1992年の設立以来、企画開発から製造までの全工程を日本国内で手がけてきた福岡発の家具メーカー、リッツウェル。厳選された自然素材と、磨き抜かれた職人の技術、そしてモダンで洗練されたデザインで、日々の暮らしを輝かせる上質な家具をつくり続けています。2008年からはミラノ・サローネにも出展、目の肥えた世界のプロフェッショナルからの評価も上がり、16年からは、サローネの会場の中でも世界のトップブランドがひしめくホール5会場へと進出しています。また17年には厚革にステッチを施したシャープなフレームとゆったりとしたファブリッククッションの組み合わせが絶妙なモジュラーソファ「IBIZA FORTE」がドイツのハノーバー工業デザイン協会が主催する権威あるデザイン賞「iFデザインアワード」を受賞。ブランドとしての注目度は増すばかり。

座面の高さや深さ、クッションの硬さやからだに接触する面積、自然と手が触れる部分の滑らかさ。快適さや使い勝手を追求してつくられるリッツウェルの家具は、使うほどにからだに馴染んでいくのも特徴。長く愛着をもって使われるよう、デザインの普遍性も追求しています。使ったときの圧倒的な心地よさだけでなく、そこに置かれているだけで快適で、端正な空気感を醸し出す家具。使い手と作り手が長い時間をかけて人生のさまざまな場面をつくり出していく……。そんな「愛着を記録する家具」が、ここにはあります。

## RITZWELL

### 世界が認めた美しい日本の手仕事 人生を変える家具と暮らす

最先端のエンジニアリングと伝統的な職人による手仕事を共存させながら、日本の美の概念を反映させた洗練のデザインを世界へと発信してきたリッツウェル。使う人の快適さを第一に考えた、調和のとれた良質な家具が、暮らしの質を高めます。

文/山下紫陽